



学校・地域・PTAの活動か

「高めよう、防犯力！ 広げよう、見守り！」 ～ 継続的な見守りのコツ 子どもの防犯力のコツ～

1月8日、浦和コミュニティセンターで今年度の学校安全ネットワークボランティア研修会が行われました。今回の講演は昨年度と同様に「市民防犯インストラクター 武田 信彦 様」です。下記に今回の講演内容を抜粋して紹介します。【市民防犯の底力1～4の4は裏にあります】

市民防犯の底力1

市民防犯が目指すのは、安全な環境づくり！

- ・「市民防犯」とは、「一般市民ができる防犯」という意味です。「犯罪抑止」は警察が取り締まる意味。「犯罪防止」は市民が行えるもので、「**犯罪が起きにくい助け合いの環境づくり**」のこと。つまり人と人が穏やかにつながり合うような安全な環境のことです。市民防犯の実践的な形が笑顔とあいさつを大切に「見守り」です。

市民防犯の底力2

姿を見せることで高まる、防犯効果！

- ・ **カラフルなユニフォームは「姿を見せる効果」**を高めます。
- ・ 市民防犯は犯罪や非行と戦う活動ではなく、また厳しい目で監視する活動でもない。
- ・ 地域や子どもたちへ目を向けて、優しい気持ちで見守る防犯活動です。

市民防犯の底力3

子どもたちを安全を守るために！

- ・ 子どもたちの安全を守るためには、①地域の方も見守り、可能な範囲の②保護者の付き添い、③子ども自身の防犯力は欠かせません。「ひとりにならない」ことが大切ですが、ひとりになってしまいやすい瞬間では特に「防犯力」が必要です。
- ・ 子どもの防犯力を高める方法。(裏に「子どもの防犯1,2」で掲載しています)
- ・ **見守り時の注意すべきこと**。防犯活動をする皆さんの善意が誤解されないことが重要です。それは①**過度な接触をしない**。②**飲食物をあげない**。③**私有地や車に入れない**(保護する際を除く。)

裏に「市民防犯の底力4」と「子どもの防犯1,2」を掲載

「針ヶ谷ふれあい子ども教室」

1月の土曜チャレンジスクールはすべて「オープンルーム」で行いました。その様子を次に紹介します。

1月10日は《カラダ動かそう！踊れなくてもダンスは出来る！》です。「よける」という動作からダンスに変えてひとつのダンスパフォーマンスにまとめ、発表会もしました。

1月24日は《いろんな国の言葉でおはなししよう！可愛いノート作りも！》です。市内在住の韓国、インド、コンゴ民主共和国、チベット出身の方々による自国語の絵本や文字などを教わったりしました。



市民防犯の底力4

地域防犯力の向上を目指して！

・多様なアプローチで向上を図ろう！

- ① すでに活躍している人たちをしっかりとサポートする。
- ② 防犯に関心のある人たちが**参加しやすい「きっかけ」づくり**を。
- ③ **新しい防犯力の創出**：地域企業とのコラボ、**最新技術の導入**、**斬新なアイデア**の採用等。

笑顔とあいさつを大切に。あいさつは人を無視しない。子どもに合わせたあいさつを。あいさつは「気になるという心の準備」＝助け合いを育む大切な基礎力

子どもの防犯力を高める方法は・・・防犯1、2を確認しましょう

子どもの防犯1

・**子どもだけになる「瞬間」に注意！**して対策を行いましょ

- ① **みち**
・ひとがいないみちをあるくとき
- ② **こうえん**
・ともだちがいないとき、まわりからみえないところにいるとき
・「かくれんぼ」は特に**注意！**
- ③ **トイレ**
・ひとりでトイレに行くとき
- ④ **ちゅうしゃじょう**
・ひとがのっているくるまのちかくをあるくとき
- ⑤ **スーパーマーケットなど**
・おうちのひとのちかくからはなれたとき
- ⑥ **じてんしゃおきば**
・じてんしゃおきばのなかにはいるとき
- ⑦ **いえのちかく**
・ひとりでおうちにかえってきたとき、げんかんのまわりでも

いざ！ブザーを鳴らさなければならない時、そのブザーはいつまでも手にもたないで、周りに放り投げて犯罪者に拾われないようにす

子どもの防犯2

・**子ども自身がもつ防犯力を高めよう**

- ① **ひとりにならない**
・そとではなるべくひとりにならないように、おうちのひとやともだちといっしょにあるきましょう！（防犯ブザーをもちましょう）
- ② **よくみる、よくきく**
・もし、ひとりになったらまわりをよく見て、まわりのおとにもよくきいてちゅういしましょう！
- ③ **はなれる**
・ひとにあいさつするときは、手がとどかないきよりにはなれていきましょう！
- ④ **ことわる**
・もし、おねがいごとをされたり、さそわれたりしたら、**はっきりことわり**ましょう！
- ⑤ **にげる**
・こわい、いやだとかんじたら、たすけてくれる人がいるところへにげましょう！
- ⑥ **つたえる**
・こわいこと、きけんなことをかんじたら、まわりのひとに大きなこえで「たすけて」とつたえましょう！（防犯ブザーをつかおう。ブザーには個人情報にならないように氏名等は記入しない）